

ここが珍しいよ!日本—日本の神道—

キム・ソンミン

こんにちは。私は大学校でバンドサークルに入っています。そこで夏合宿に行きました。これを見てください。音楽神社です!音楽神社を見たことがありますか?私は音楽にも神様が宿っていることに驚き、神道の素晴らしさを改めて感じました。そこで日本で深く浸透されている日本の神道について話します。今日言いたいことは三つあります。一つ目は珍しい八百万の神について。二つ目は神社の魅力について、三つ目は日本人にとって神道について。です。

まず、神道は何か短く説明すると、森羅万象あらゆるものに神が宿るという思想に基づいている宗教です。その中で八百万神の概念が珍しかったです。最初に言った音楽やたぬき、猫の神様、いろいろあります。生き物だけではなく自然やものにも神があると信じていることがとても珍しいです。韓国といえばキリスト教はイエス様、仏教は釈迦様なんですけど、神道にはほぼなんでも全てを管理する神様があるのも珍しいです。そして日本の家の中に神棚とか、1年のはじめに神社を訪れ、幸運を祈願する「初詣」も面白いです。

次に自分はこんなに珍しい神道の神社にも興味があります。なぜなら神社こそ神道を直接表すものだからです。とくに神社のとりいが好きです。大きいものや、ちいさいもの。赤いものや地味なものもあります。とりいは神の世界に入る門としての役割をします。とりいをくぐって神々しい雰囲気っていったいどの神社へ入るのはいつも楽しみです。特に今年行った日光東照宮がとてもよかったです。そこで有名な「泣き龍」に感動しました。天井に描いていた龍の頭の真下で木の棒を叩くと音が響きますが、他のところで叩くと音が響きません。このような経験ができたからもっと神社の雰囲気に巻き込まれることができたと思います。私は宗教を持っていませんが、神道のように森羅万象に神様が宿るという思想が好きです。

最後に日本人は神道をどう思っているのか。についてです。日本人に「あなたの宗教はなんですか。」と聞いたら多分、私は神道を信じていますという人はいないと思います。ただ昔から日本人の心の中に染み込んでいる思想とか文化だと思えます。「千と千尋の神隠し」に出て来るたくさんの神様の様子は面白いですよね。そして神社での祭祀や、お盆の先祖供養などの年中行事をはじめとする日本人の生活の中に神道が色濃く残されています。このように、神道は日本人の精神の基盤をなす重要な存在だと思えます。

以上でスピーチを終わります。